

# 家具金物に関するQ&A

**Q1** 金具による耐震対策を行う場合の注意点を教えてください。

**A1** 耐震対策を行う場合に、一番に考えなければならないことは、人命をいかに守るかです。このためには、幾つかの対策を関連して行うことが大切です。

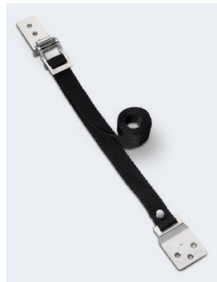
例えば、

①2段、3段重ねの家具の場合は各段を固定し一体化を図り、併せて一体化した家具の転倒防止対策をすることが必要です。

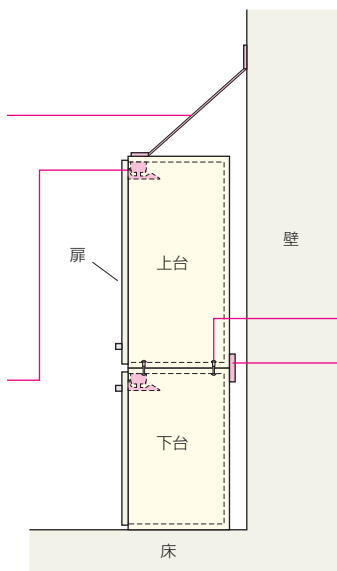
②扉の開放を防止する対策を行い、併せてその家具本体の転倒防止対策をすることが必要です。

③ガラス扉の場合は、扉の開放を防止する対策、ガラスの飛散を防止する対策、その家具本体の転倒を防止する対策を併せて行うことが必要です。上記を参考にして、複合した対策を是非とも心掛けてください。

転倒防止金具(タンスガードII)



感震くん2-N



重ね金具  
(コの字型転倒防止金具)

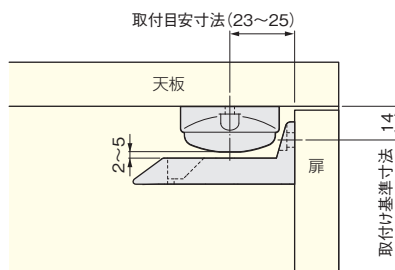


セットキャップボルト/ナット  
(詳細は609ページ)

**Q2** 感震くん2-Nは、インセット扉にも使えますか？

**A2** 使えます。ただし、感震くん2-Nの取付位置出し用治具はアウトセット扉用のため使うことができません。そのため、取付けはしにくくなります。また、場合によっては非常解錠ができなくなりますのでご注意ください。

感震くん2-N



感震くん2-Nインセット扉の場合の位置関係

## ご注意

キャッチや戸当りなどを併用して、扉が取付目安寸法よりも内側へ入らないようにしてください